

令和8年度湘南大庭地区郷土づくり推進会議
＜全体会議（第4回定例会）議事録＞

日時：2026年（令和8年）7月7日（火）19:00～21:00

場所：湘南大庭市民センター 2階 第1談話室

出席者：9名 別添出席者名簿のとおり

（事務局）湘南大庭市民センター 大塚センター長、田嶋主幹、近藤、大高、剣

1 令和8年度事業進捗について（住まい暮らし政策課）

■経緯とこれまでの取り組み:

- ・ 令和7年度前半に人材発掘を行い、後半にはハブセッションや湘南大庭市民センター等での交流イベントを開催。野菜直売所の開設や地域事業所への就労など具体的な成果が出ている。

■令和8年度の予定（リノベーションスクール等）:

- ・ 事前講演会: 第1回を7月2日に開催、第2回を8月10日に開催予定。
- ・ 実践スクール: 10月10日（土）～12日（月・祝）の3日間、湘南大庭市民センターにて短期集中型で開催予定。参加者は24名程度（3班×8名）。
- ・ 対象物件: 共同住宅の空き住戸、空き店舗、使われなくなった倉庫や事務所など、現在所有者と調整中。
- ・ プログラム内容: 1日目: 物件見学・リサーチ、2日目: ショートプレゼン・ブラッシュアップ、3日目: 公開プレゼンテーション（不動産オーナーや銀行関係者を招待）。

■今後の課題と方向性:

- ・ イノベーター（先進層）だけでなく、その後の多数層（一般参加者）を巻き込むために地域団体（郷土づくり推進会議など）の協力が不可欠。
- ・ スクール終了後のアフターフォロー（伴走支援）も委託事業の中にセットで組み込まれている。

■主な質疑応答・意見:

- ・ 委員: 3日間で初めて会った人たちが収支計画まで含めたプレゼンをやるのは無理があるのでは？また、家賃と収益のギャップをどう埋めるのか？
- ・ 市（住まい暮らし政策課）: 各班に経験のある講師を配置し、少なくとも形になるようブラッシュアップする。また、銀行関係者を呼ぶのは融資のためではなく「銀行の審査がいかにかんげいしいか」を体験してもらい、事業の現実感を知ってもらうため。
- ・ 委員: 枠組みやベースをしっかり作ってから進めないと、勢いだけでは失敗するリスクがある。フォローアップ体制を明確にしてほしい。

2 前回の確認 第3回定例会議事録（案）＜資料1＞

- ・ （特段の異議なし、承認）

3 各部会からの報告事項

(1) 共生部会

① デジタル推進事業＜資料 2＞

- ・ ネットスーパー関連: 現在、イオンからの返答待ち。

■スマホ・AI 講座等:

- ・ 共創推進課経由で民間企業への連携を打診。KDDI の「スマホで防災講座」は無償（実績あり）で実施可能。
- ・ 時枝氏より「AI 講座（10 名まで：33,000 円）」「安心安全講座（15 名まで：38,500 円）」の見積もりを収受。予算内に収まるため、これで進める方向。

■講演会:

- ・ 中澤教授よりテーマ（資料記載）の報告あり。日程調整については、10 月（ふるさとまつり）、11・12・1 月（健康相談事業等）を避け、年明け 2 月の土曜日（全体集会との同日開催を視野）にスケジュールを確認する。
- ・ **今年度の全体集会の開催予定日は、年内は各種イベントがあるため、来年の 2 月から 3 月に開催予定とする。**

② 挨拶交わしたい事業＜資料 3＞

- ・ 「挨拶の必要性」や地域の現状を把握するため、地域団体や学校関係者、保護者等へのアンケート実施を検討。
- ・ （※配布されたアンケート原案は、チャット GPT を活用して作成されたもの。次回までに修正・指摘事項があれば随時受付）。

③ 健康相談事業

- ・ 「まちかど健康相談」スケジュールと内容:
- ・ 1 月に 2 日間、保健医療財団の協力のもと実施。
- ・ 1 日目：筋力測定・体組成測定等、2 日目：歩行姿勢測定。両日東急展示スペース）。

■「とくとかチャレンジ（歩くアプリ）」との連動:

- ・ 図書館（第一会議室：定員 30 名）を借りて実施。
- ・ 参加者に一斉、または順次アプリを入れてもらい、歩き方の指導を受けた後、距離表示板を回って帰ってくるコースを想定。混雑を避けるため、アプリ導入が完了した人から順次動く流れで財団・図書館と調整する。
- ・ その他: 中澤教授のデジタル推進事業や、12～1 月実施の「地区対抗歩くチャレンジ（仮称）」との連動も視野に検討。

(2) 生彩部会 大庭城跡事業＜資料 4＞

- ・ 大庭城跡の整備計画:
- ・ 藤沢市文化財保存活用地域計画のパブリックコメントを踏まえ、大庭城跡の歴史的・公園一体型の整備（予算化と調査実施）が市の方針として示された。
- ・ オリジナルパンフレット作成: 郷土歴史課が作成する歴史パンフレットとは別に、都市公園としての魅力も合わせた推進会議独自のパンフレットを今年度予算で作成予定。
- ・ デジタル紙芝居: 川地先生監修のもと、子どもたちが認知しやすいイラストを今年

度中に作成予定。

- ・デザインマンホール・マンホールカード＜資料 4-5＞:
- ・広報シティプロモーション課と調整し、甲冑姿で馬に乗るふじキュンのデザイン案に決定。
- ・設置場所は、城跡公園駐車場の案内板裏付近（※現在、業者が整地・清掃を実施した場所）を候補として検討。
- ・マンホールカードの発行（初回 4,000 枚）にあたり、配布場所（大庭城址公園管理事務所等）で大庭城跡に関するアンケートを実施し、周遊を促す仕組みを検討中。
- ・安全対策: 大庭城址公園の階段沿い、管理事務所下の黄色い危険区域（屋根瓦の落下リスク等）について、速やかな行政対応を要望。

(3) 発進部会 広報・プロモーション事業＜資料 5＞

- ・回覧板・広報のあり方見直し:
- ・各団体へ負担軽減のためのアンケート（ヒアリング）を実施し、希望があれば面談。バラバラに回覧を出すのではなく、他地区の事例のように 1 冊にまとめて発行する手法などを提案し、集計後に審議へかける。

■デジタルサイネージの活用＜資料 5-2＞:

- ・駅前の辻堂、明治地区のようにシステム等への完全な組み込みは難しいが、スポット広告として動画（MP4）やスライド（音声なし）の再生が可能。
- ・第 1 弾として、大庭城跡のドローン空撮映像（紅葉時期・5 分程度）を放映予定。第 2 弾として、AI 作成資料や過去のシンポジウム動画の活用を検討。
- ・ドローン空撮映像については、動画作成者に使用許可を確認している。

4. 事務局から

① ふるさとまつりについて（10 月 24 日・25 日）

- ・出店スペース: 例年通り（パネル 3 枚、長机 3 つのスペース）を仮確保。
- ・今年はジャンボかるたの担当者が不在のため出展内容を調整。Happy Map のの配布を行う。
- ・ジャンボかるたやお手玉など、子ども向けの遊びについては、まつり会場ではなく「図書館」のスペースを活用して毎月の定例打ち合わせの中でタイアップを検討する。
- ・スマートテレビ展示のために電源を使用したい。

② 名入りチャームボールペンについて＜資料 6-1～6-3＞

- ・昨年度は納期の関係上繰り越しとなった「名入りチャームボールペン（400 本）」の製作を再提案。
- ・チャームデザイン: 甲冑姿で馬に乗るふじキュン（※デザイン先行公開となるが、マンホールの宣伝として活用）。
- ・名入れ文字: 「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」では文字が小さくなりすぎるため、「♡ver 湘南」に変更。
- ・予算（約 11 万円）: 「かるた消耗品」、「ウォーク参加賞（一部）」、「子ども居場所づくり」、「回覧用消耗品費」などの予算で執行することを承認済。

その他（報告・連絡事項）

- ・ 小糸台公園 肝試しイベント:
- ・ 8月30日（日）16:30～（東小糸台公園で怖い話、その後小糸台公園を肝試し。模擬店も出店予定）。
- ・ お揃いのユニフォーム（ポロシャツ等）について:
- ・ 作成する場合は自腹（1,600円～1,700円程度、アイロンプリント仕様）。希望を取りまとめ、3週間程度で作成可能。

③次回以降の定例会日程について

8月7日（金）第1談話室
9月4日（金）第2談話室
10月2日（金）第1談話室
11月6日（金）第1談話室
12月4日（金）第1談話室
1月8日（金）第1談話室
2月5日（金）第1談話室
3月5日（金）第2談話室

以 上

【次回】第5回定例会

〔日時〕 令和8年8月7日（金）19:00～

〔会場〕 湘南大庭市民センター 第1談話室